

挑戦だ
探究して



EVENT SCHEDULE

6/ 8 (土) 9:00 ~ 16:00

魅力発見フェスタ 場所：江南市民文化会館
～尾北地区13の高校による合同説明会です。

6/16 (日) 10:00 ~ 14:00

こまきオープンキャンパス 2024 場所：小牧市中央図書館
～小牧市とその近隣の高校が集まる合同説明会。個別相談が中心。

8/ 4 (日) 10:00 ~ 16:00

愛知県立高校進学フェア 場所：吹上ホール
～愛知県内の県立高校が集まる合同説明会です。

8/ 8 (木) 9:00 ~ 12:00

第1回中学生学校見学会 場所：本校 **要予約**
～学校説明・見学に加え、授業体験を実施します。

10/12 (土) 13:00 ~ 15:00

第2回中学生学校見学会 場所：本校 **要予約**
～学校説明・見学に加え、部活動体験を実施します。

11/16 (土) 9:00 ~ 11:00

中学生向け入試説明会 場所：本校 **要予約**
～中学生とその保護者に向けて入試説明と個別相談会を実施します。

2/ 4 (火) 9:00 ~ 15:00

探究学習発表会 場所：本校
～本校の探究学習における成果発表会で、広く公開する学校行事です。

※日程・時間は変更する場合があります。必ずHP等でご確認ください。

※予約が必要なものは、本校HPより申込をしていただけます。およそ1か月前より受付を開始します。

愛知県立犬山総合高等学校



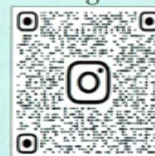
愛知県立
犬山総合高等学校
全日制課程・総合学科
(入試グループ：A)

〒484-0835
愛知県犬山市字蓮池2番地21
TEL: 0568-67-5211
FAX: 0568-67-9388
<https://inuyama-sougou.jp/>

公式HP



Instagram



犬山総合高校が目指す生徒像

「チェンジメーカー」

あらゆる課題を自分事としてとらえ、
自分や社会を変えてみんなを幸せにする人



01 挑戦

- ・自分の想いや考えを、熱意をもって周囲に伝え、共感を得ることができる。
- ・好奇心をもち、失敗を恐れず、勇気をもってチャレンジできる。



02 創造

- ・今までにないものを生み出すような発想力を持ち、他とは違うユニークで柔軟な考え方ができる。
- ・現状の問題を自分事として捉え、その改善に向けたアクションを起こすことができる。



03 共感

- ・他者に思いやりや共感を示し、協働することができる。
- ・自分自身だけでなく、他者や社会のウェルビーイングも考え、貢献できる。



04 視点

- ・他者の意見を尊重し、一つの物事に対して様々な角度から考えられる。
- ・意見や考え方の違いを、対立ではなく対話によって解決できる。



05 向上

- ・自ら学ぶ姿勢をもち、知識やスキルをアップデートし続けられる。
- ・「今がよければいい」ではなく、将来を見据えて自分を磨くことができる。



06 責任

- ・振り返りを通して、強みや改善点を理解し、自分の成長に責任をもつ。
- ・モラルをもって秩序を守り、社会の一員として行動できる。



3つの学問領域

強みをつくる”自分の時間割”で学ぶ

自分を磨く、
社会を変える

“探究する学び”

で強みを持ったチェンジメーカーを育成します

探究型総合学科

”探究”を軸にしたカリキュラムで学ぶ



がんばり坂
作詞・作曲 竹村 文碩

誰もいない寒い朝に
ひたすら走る 君の姿
流れる汗が 朝日に光る
今日も君は走る がんばり坂を

夕日が落ちて 静けさの中
遠く聞こえる 団結の声
夏を乗り越え 冬に耐えて
明日も君は走る がんばり坂を

息を切らして 歯を食いしばり
何を求めて 君は走る
苦しさだけが あるわけじゃない
だから君は走る がんばり坂を

誰か名付けた この坂道
今日まで何度 走ったことか
卒業前に もう一度だけ
僕は君と走る がんばり坂を
僕は君と走る がんばり坂を

自分にピッタリの学びを

3つの学問領域と科目選択

「今・これから必要とされる力」を育むために、3つの学問領域をベースとした特色ある科目を設置しています。その中から自分の興味関心や進路希望などに合わせて科目を選択し、オリジナルの時間割を作成します。あなた専用の時間割でより主体的に学習を進めていくことができます。なお、1年生は共通科目を行い、学年が上がるごとに科目選択の幅は広がっていきます。

領域01

リベラルアーツ

普通科の学びをベースに、高校生としての教養をより深く探究する科目の集まりです。

Liberal Arts

モデルプランと主な科目

人文社会科学プラン

【国語エキスパート】
【応用日本史・世界史】
【ビジネス英語】 など

自然科学プラン

【数学活用】
【ビジネス英語】 など



モデルプランと主な科目

ライフデザインプラン

【アントレプレナーシップ】
【ライフデザイン】
【ライフフィロソフィー】 など

コミュニティビジネスプラン

【アントレプレナーシップ】
【コミュニティビジネス】 など

領域02

ビジネス・イノベーション

ビジネスの力や起業家精神で社会課題の解決に挑むための資質・能力を育成する科目の集まりです。

Business Innovation



領域03

デジタル・イノベーション

デジタルの力で困りごとを解決し、世の中を便利にする「DX人材」の育成を目指した科目の集まりです。

Digital Innovation

モデルプランと主な科目

ITプラン

【IT入門】
【データサイエンス】
【アプリ制作】 など

メディアデザインプラン

【メディアデザイン】
【映像メディア】 など

POINT

科目選択や進路決定に向けたキャリアガイダンスが充実しています

総合学科において科目選択は非常に重要です。そのため、1年生「産業社会と人間」の授業では、各領域の学びに関する講話やワークショップ、体験学習を専門家の方々と連携しながら進めていきます。それらをふまえて丁寧にサポートします。

POINT

その道の“プロ”と連携した魅力的な授業が用意されています

授業に関連した専門家を招いて、犬山総合でしか受けられない特別講義を受けることができます。



例えば「プロカメラマンきむらよしひろ氏による一眼レフカメラ講座(2年生「メディアデザインI」)

学びを生かして、地域課題にチャレンジ

地域と連携した探究学習

生徒自らが興味や関心を持ったことから出発し、自問自答や試行錯誤、さらには多様な他者との協働の中で「答えのない問い」にとことん向き合う学習です。

3年間の系統性

「産業社会と人間」 ■ 1年生

“お題に対して提案”
犬山市役所と連携した4つのプロジェクトを実施。

「地域探究I」 ■ 2年生

“提案から実行まで”
様々な団体と連携した地域密着型プロジェクトに挑戦。

「地域探究II」 ■ 3年生

“企画・提案・実行の全て”
生徒自らが企画・調整して行う総仕上げの探究活動。

体験版プロジェクト型学習

プロジェクト型学習

クエストエデュケーション

探究を軸にしたカリキュラム

探究学習で学びを実践

全ての教科の学びを、「地域探究」などに集約し、リアルな社会課題に挑戦する。

- ✓ 教科横断的な活動で“総合知”を育みます。
- ✓ 自らの学びと社会とのつながりを実感します。



全ての教科・科目で探究

全ての教科で探究的な視点による授業を実践し、かつ協働的な活動を重視します。

- ✓ 生徒が“受ける”ではなく“創る”授業を実施します。
- ✓ 対話を重視した協働的な学びを充実させます。

学びのフィールドは地域

あらゆる場面で活動の場を学校外へ移し、より実践的な活動を行います。

- ✓ 社会課題をより自分事として捉えます。
- ✓ 地域社会への帰属意識を向上させます。



地域の皆様と一緒に活動

自治体や企業、各種団体と協力・連携し、専門的な指導も受けながら活動します。

- ✓ 実社会のリアルな評価による振り返りをします。
- ✓ 様々な価値観に触れ、幅広い人脈を形成します。

POINT

2年生「地域探究I」における“8つのプロジェクト”

- 「地域課題を解決する新しいビジネス起業」プロジェクト
- 「介護施設の幸福度アップ」プロジェクト
- 「高校生コミュニティナース」プロジェクト
- 「シェアエコで地域課題を解決」プロジェクト
- 「障がいのある人を越えて共生社会を目指す」プロジェクト
- 「AI活用コンテンツ挑戦」プロジェクト
- 「PRポスター制作」プロジェクト
- 「地元企業のCM制作」プロジェクト

＝ご協力いただく皆様＝

ソフトバンク株式会社様、名古屋鉄道株式会社様、ミズホエレス株式会社様、株式会社成建正装様、愛知北エフエム放送株式会社様、東海若手起業塾様、ともいき福祉会様、株式会社野遊びヘルスケア様、シェアリングエコノミー協会様、犬山市協働プラザ様
etc... (順不同)



個別学習

自習スペースと学習支援システムの導入により、個別最適な学びがしっかりとサポートされます。理解度や進路希望等に合わせて、自分にピッタリの学習を進めることができます。

【ICTを活用した自習スペース】
タブレットを充電しながら大型モニターで視聴



部活動

生徒が自ら部の目標や計画を考えて設定し、顧問の先生と相談しながら一緒に部活動をつくりあげます。生徒主体の部活動が犬総の特徴です。

◆◇部活動一覧◆◇

- 野球部
- サッカー
- 陸上競技
- バスケットボール (男)
- バスケットボール (女)
- バレーボール (男)
- バレーボール (女)
- テニス
- バドミントン
- 卓球
- 弓道
- 剣道
- 「運動系」
- eスポーツ
- 吹奏楽
- 茶華道
- 美術
- 理科
- 「文化系」

みんなが主役 ” 向上タイム ”

それぞれの強みをさらに磨くため、生徒が主体となって、個別学習や部活動、探究活動などから自分の活動を選びます

◆◇学校行事◆◇

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 【4月】
入学式
公開授業 | 【10月】
2学期中間考査
中学生学校見学会 |
| 【5月】
1学期中間考査 | 台湾修学旅行 (2年)
遠足 (1,3年) |
| 【6月】
体育祭
1学期末考査 | 【11月】
球技大会
2学期末考査 |
| 【7月】
保護者会
大学講義体験 (1年) | 【12月】
保護者会 |
| 【8月】
中学生学校見学会 | 【1月】
学年末考査 (3年) |
| 【9月】
文化祭 | 【2月】
探究活動成果発表会
学年末考査 (1,2年) |
| | 【3月】
卒業証書授与式 |

生徒会活動をはじめ、生徒が主体となった学校づくりが活発に行われています。学校行事はもちろん「過ごしやすい学校」を創るために生徒が考え、様々なアクションを起こします。



生徒会活動



授業内にとどまらず、業後の時間も含めて探究活動の機会が豊富です。地域連携や生徒発信のプロジェクトに積極的に挑戦し、チェンジメーカーを目指そう！



探究活動

2023年度 SDGs QUEST
みらい甲子園 東海エリア大会
アクションアイデア優秀賞 受賞

犬山総合高等学校における学びのストーリー

3つの学問領域から構成され、探究学習を軸にしたカリキュラムで学び、それらを活用して地域課題の解決にチャレンジする中で、強みをもったチェンジメーカーとして成長する。

“強み”をつくる3つの学問領域



リベラルアーツ領域

普通科の学びをベースに、高校生としての教養を深く探究する



ビジネス・イノベーション領域

ビジネスの力と起業家精神で社会課題の解決に挑む



デジタル・イノベーション領域

デジタルの力で困りごとを解決し、世の中を便利にする

時代に合わせた専門科目から興味関心やキャリアに合わせて科目選択 ▶ 個別最適な学びの実現 学ぶ意欲の向上

探究を軸にしたカリキュラム

学びを武器に社会課題に挑戦

全ての教科の学びを、「産業社会と人間」「地域探究Ⅰ・Ⅱ」などの探究活動に集約し、リアルな社会課題に挑戦する。

- 教科横断的な活動により総合知を育む
- 自らの学びと社会のつながりを知る

学びのフィールドは地域

あらゆる場面で生徒の活動の場を学校外へ移し、地域で学ぶことを重視し、よりリアルで実践的な活動とする。

- 社会課題をより自分事として捉える
- 地域社会の帰属意識を醸成する

全ての教科で探究

全ての教科において、探究的な視点による授業を実践するとともに、協働的な活動を重視した学びの場とする。

- 生徒が“受ける”から“創る”授業へ
- 対話を重視した協働的な学びの充実

地域の人々と一緒に活動

自治体や企業、様々な団体と連携し、専門的な指導を受けるとともに、地域の方々と協働して活動する。

- 実社会のリアルな評価による振り返り
- 幅広い人脈の形成

- 学び続ける“自立した学習者”への成長
- 将来を見越した“キャリア形成”
- “学びの目的”を持った上級学校への接続
- “主体性”を持った主権者への成長



犬山総合すべての活動指針

チェンジメーカーとして社会へ！

犬山総合高等学校 生徒宣言

生徒宣言とは、学校に関わる全ての人が、心豊かに過ごすことのできるよう、犬山総合高等学校生が心掛けるべきことを明文化したものです。誰もが誇りに感じる犬山総合高等学校とともに、自分を変え、世界を変えよう。

- 01 私たち生徒は**
チェンジメーカーになります
このような生徒とは、チャレンジ精神や誇りを持ち、未来を切り拓くことができる生徒です。
- 02 私たち生徒は**
モラルをもって、秩序を守ります
このような生徒とは、高い気節を持ち、常に他者の立場を考え、学校づくりに取り組む生徒です。
- 03 私たち生徒は**
同心協力をします
このような生徒とは、周りを尊重し、仲間意識を取り入れ、目標に向かって互いに高めあう生徒です。

ルールメイキングプロジェクトチームが中心となって制定された、犬総「生徒宣言」

学校内のルールや決まり事に向け、その改善や提案を中心として行う「ルールメイキングプロジェクトチーム(以下RMP)」が、学校としての方向性を示す「生徒宣言」を制定した。

今年度は「生徒宣言」の制定がRMPの主な活動となったが、その中で全校生徒を対象にアンケートを実施し、現状のルールや学校生活に関する意識調査を行った。その結果を踏まえた教員との「ワーキング会議」では、教員からの質問にも熱い思いを込めて回答した。宣言には、「チェンジメーカー」「モラル・秩序」「同心協力」のワードが並び、心協力のワードが並ぶ。しかしこれはあくまでスタートに過ぎない。現在の課題は、全校生徒の意識を変えること。まずはRMPの活動に興味・関心を持ってもらい、積極的

犬総「生徒宣言」を制定

「誰もが通いたくなる学校」を目指して



2024年 3月号

4月に新しくスタートした犬山総合高校にはまだ校歌がないため、有志生徒を募って活動中。そこに強力な助っ人が加わってくれたこととなった。「犬山南高校の校歌を作ったのは一回生の倉知さん」という情報を聞きつけ、直接倉知さんにアプローチして了解を得た。

シン校歌作成へ始動

南高OBとの共同プロジェクト



ワーキング会議では教員の前で堂々と説明

に参加する基盤を作りたいと考えている。「誰もが通いたくなる学校」を目指して、彼らの挑戦は始まったばかりである。

倉知さんは、現在も曲を作っている。現役の作曲家。有志生徒10名が作成の手順を考えるが、さっそく倉知さんよりアドバイスを頂いた。曲調や使用する楽器については、生徒から意見を集約して参考とする。アンケートに参加

からもメンバーを募り、令和7年の1月末を目標に完成を目指す。校歌の作成に関われる機会はとて珍らしいこと。どんな校歌になるのか、遠くから完成が待ち遠しい。

学校行事に生徒の発案を

新しい学校行事のリーダーズ

令和6年度の体育祭や文化祭に向けて、早くも生徒たちが動き出している。有志生徒による「新しい学校行事のリーダーズ」だ。学校行事も新しい学校にふさわしい内容に、と全校生徒へのアンケートも計画している。体育祭での新種目や、文化祭での新たな取り組みなど、目が離せない。

部活動活性化に向けて

個別活動部・探究部を新設

生徒数の減少に伴う部活動の部員数減少について、各部の部長が協力して対策を考え、部活動活性化に精力的に取り組んでいる。今年度は定期的に部長会を開催し、現状や活性化に向けた取り組みについて議論を重ねた。実際に年度途中の部活動体験やインスタグラムでの投稿など、新しい取り組みに着手した。また部の運営方針についても、生徒と顧問が話し合っている。

一方で、今年度部活動にない種目を実施している生徒が大会にエントリーできるよう対応してきた。来年度は「個別活動部」として、支援体制をより強める。さらに今年度は、地域と連携したイベント参加が何度かあった。来年度も今年度以上の連携依頼が予想されることから「探究部」を立ち上げ、学校としてサポート体制を強化する。まずは4月の部活動紹介に力を注ぎます。



部長会の内容をインスタで熱く語る部長たち

愛知県立犬山総合高等学校 【総合学科・Aグループ】
〒484-0835 TEL 0568-67-5211
犬山市宇蓮池2番地21 FAX 0568-67-9388

新しくなる施設・設備

今年の8月から、総合学科としての学びに対応する教室環境整備のため、教室の改修工事が行われた。11月には新しい教室が披露目され、さっそく会議や授業などで活用されている。設備が揃っていない教室においても徐々にセッティングが進み、4月からの使用に向けて準備が進んでいる。

③高性能PC40台が設置された「メディア演習室」
ポスター作成や、動画・画像の編集作業など、DX推進の中心地
カラーは青



④モニター40台設置(予定)の「多目的室」
タブレットを接続して、授業や自習など用途は多目的
カラーは緑



①育児から介護、衣食住など、人の一生に向けた学びを実現する「ライフデザインルーム」
カラーは黄



②ビジネス系列の授業を中心に、90人が一斉に話を聞くことができる「ビジネスルーム」
カラーはライトグリーン



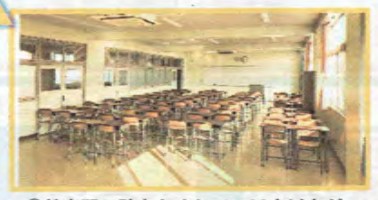
⑩昼食を一人でゆっくり食べたい生徒のための「個活スペース」を、図書室横に設置



⑨職員室の隣で、会議やプレゼン、生徒の自習スペースなど多岐にわたり活用されている「プレゼンテーションルーム」
カラーは赤



⑦教室間の壁を可動式にし、通常サイズでも、大教室としても使用可能な「学習室4C・4D」
今回は空調整備のみ実施
カラーはオレンジ



⑧教室間の壁をなくして、90人以上が使用できる大教室「学習室3C・3D」
今後は可動式の壁を設置予定
カラーはオレンジ

その他にも新しい設備が

専門的な学びの実施に向けて、上記の施設以外にも新しい設備が整備されています。



体育館でもDX推進。大型モニター。



大きなサイズのポスターなども印刷可能。大型プリンター。



生徒の活動の様子など、校外で表示してPR。デジタルサイネージ。

期待 ソフト事業も充実

令和6年度の授業において、さまざまなソフト事業が実施される。令和5年度に引き続き「DMM英会話」「eスポーツを含むDX講座」の他に、ビジネス系列では「コーポレートアクセス(教育と探求社)」で企業と連携して課題解決のアイデアを提案する。

デジタル系列では「AIチャレンジ(ソフトバンク)」でAIの活用について学んだり、各種デバイス(obnizボード等)を使用して、プログラミング実践を積極的に行う。

外部団体と連携して、専門的かつ最先端の知識やスキルを体験することで、時代や社会に必要とされる「チェンジメーカー」を育てます。

デジタル・イノベーション

IT / メディアデザイン

プロカメラマンから学ぶ「撮影講座」

令和6年度からの授業で使用する一眼レフカメラを積極的に使ってみよう、と呼びかけた写真撮影講座が年の瀬迫る12月27日に開催された。

プロフォトグラファーの木村さんを講師に招き、初心者の生徒にもわかるように丁寧に説明して頂いた。その後は校内に分かれての撮影会。ユニークな視点の写真に生徒の可能性を感じます。



校内で場所を探して撮影

犬山城下町のPR動画作成に向けて

犬山青年会議所とタッグを組み、犬山城下町の魅力を発信するPR動画の作成が、現在急ピッチで進んでいる。

脚本も生徒が考え、当日のキャスト及び編集作業等に関わる生徒が集まって打ち合わせを重ねている。撮影は3月中旬、完成が今から待ち遠しい。

「生成AI EXPO in 犬山」に参加

デジタル化推進を目指す犬山市で12月10日、「生成AI EXPO」が犬山市民交流センターフロイデにおいて開催された。

本校生徒も運営補助および取り組み中の課題発表を行った。デジタル活用人材の育成を目指す本校にとっては、最先端の知識や情報に触れることができた貴重な機会となった。

犬山総合高校に関する情報はコチラ。チェックしてね。



Webサイト Instagram デジタルパンフレット

犬山の魅力をポスターに

犬山の城下町以外に魅力ある場所を探し、ポスターにPRする企画が10月27・28日に行われた。この企画は、静岡県内でポスター制作やアイドルユニット活動を通じて地域の魅力を発信を既に実施している、浜松学芸高校と共同で実施した。初日は、学校周辺に繰り出してのロケ活動。神社が多く電

浜松学芸高校と共同制作



浜松学芸高校の生徒との共同作業

線が少ない。細い道や坂、電車が走る風景など、撮影に適している点が多いこと

もわかった。夕方や暗くなつてからの撮影など、様々な場面で魅力探しに奔走した。また写真だけでなく、そこに添えるフレーズも重要となるため、二日目は教室で意見を出し合った。



撮影した写真をすぐにチェック

名鉄の5駅に掲示されたポスター



浜松学芸高校のサポートもあり、自信をもって発信できる作品が仕上がった。出来上がったポスターは、名鉄と連携して犬山、小牧、江南、扶桑、柏森の5駅に掲示された。次年度以降の授業においても、地域の魅力発信に焦点を当て、作品制作に力を入れていく。

リベラルアーツ

先生は大学生

昨年までの定期考査前に加え、今年度からは考査前以外にも大学生からの学習支援が受けられる。



大学生の教え方は丁寧と生徒には好評

「使える英語」の習得を目指す

DMMと連携して行う「オンライン英会話」は、講師とマンツーマン授業で豊富な会話量を確保する。昨年実施した2・3年生は、昨年よりレベルアップしている



会話の難易度は講師と生徒が相談して決める

自分を感じているよう。初めての1年生も回数を重ねるごとに意欲的に参加できた。

教科「向上」に替えて

朝の10分間を使って学び直しを行ってきた教科「向上」が、個別最適な学びに向けて改善される。

次年度は「スタディサプリ」を導入し、各自のレベルに応じた課題に取り組む。予習、復習、学び直しなど、主体的に学ぶための有効なツールとなる。難しい問題にも自分から挑戦だ。

人文社会科学 / 自然科学

Be a ChangeMaker

探究

SDGs QUEST ファイナリストに

観光地での災害時の対応について

SDGsの目標達成に向けた高校生のアイデアコンテストである「SDGs QUEST」みらい甲子園「東海エリア」大会に本校1年生が参加し、一次審査を通過してファイナリストに選ばれた。彼らが選んだテーマは「防災」。外国人を含めた観光客が多い犬山市で、大きな地震が起きたらどうすれば良いか。誰もがわかりやすく非難するため考えたのはビクトグラム。

QRコードを読み込むと、避難所までの経路をビクトグラムが示してくれる。しかし専門的な知識がない彼らは、その道の第一人者である名古屋大学の山岡教授を訪ねてご指導を頂いた。正しい知識に加え、伝えるポイントなどご



名古屋大学の山岡教授からはオンラインを含め、複数回指導していただいた



プレゼン動画による最終審査に自信を深める

3月17日が最終審査。メンバーは最終プレゼンの準備に余念がない。能登半島地震の記憶も新しい今、彼らの提案に注目が集まる。

10月より実施してきた、1年生の探究学習の核となる「犬山市役所との連携プロジェクト」の最終発表会が1月26日に行われた。当日は、原市長にも参加いただいた。

犬山市役所と連携プロジェクト

市役所の4課と共同

活性化(情報政策・文化スポーツ課)の4つ。校内選考会を経て選ばれた10の班が市長の前で発表。実際の避難場所までを動画で撮影してハザードマップを作成した班、デジタル学生証を提案した班など、実現可能なアイデアがいくつも発表された。

まりづくりのアイデアを提案

竹細工を活用して、まちをPRする提案をばれた。一方で、受賞も見受けられ、探究活動へのモチベーションは高まったようである。



原市長より表彰される最優秀班

ライフデザイン / コミュニティビジネス

ビジネス・イノベーション

高校生のアイデアが実現

「イヌミネーション」完成

犬山のまちの活性化を目指して、犬山青年会議所と協働してきたアイデアが実現した。4月に青年会議所と本校及び犬山高



マルシェ当日は運営のお手伝い

当日はマルシェの運営にも参加し、自分たちで創り上げる貴重な体験ができた。新しい発想やアイデアを生み出す「チェンジ」に、少し近づいた。



犬山城をバックに飾られた「イヌミネーション」

特別支援学校と交流会

コロナ前に実施していた、小牧特別支援学校との交流会を実施。新型コロナウイルス感染症の影響で中断していたが、今年度復活した。1年生の生徒が訪れてボッチャに挑戦した。作戦をお互いに考えながら、チームの勝利を目指した。ランブという器具



ランブを使い、協力してボッチャをプレー

犬山市民フリースピーチに参加

「犬山市について物申す」。そんな機会が3月13日に本校で実施される。犬山市議会議員の前で思いを直接伝える「市民フリースピーチ」に5名の生徒が参加します。犬山や自分の住むまちを良くするためのヒントが得られると期待しています。